



(題字 瀧澤 弘 学長)

第445号
(平成14年 1月号)

1月のトピックス

◇ 7日～10日 平成13年度外国人留学生と日本人学生との交流会を開催



△長野県・ブナ平スキー場におけるスキー合宿研修風景

◇ 19日 教育学部附属養護学校高等部と同附属中学校が合同でフリーマーケットを開催



目 次

年 頭 挨 拶	3
関 係 法 令	4
学 内 規 則	
◆ 富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則の制定	4
諸 会 議	5
学 事	
◆ 平成14年度大学入試センター試験を実施	6
◆ 平成13年度富山大学国際交流活性化推進事業（後期分）採択者	7
人 事 異 動	8
学 内 諸 報	
◆ 附属図書館長の改選	9
◆ 平成13年度外国人留学生と日本人学生との交流会を開催	10
◆ 国立大学の法人化に関する講演会（第2部）を開催	10
◆ 教育学部附属養護学校高等部と同附属中学校が合同でフリーマーケットを開催	10
◆ 教養教育実施機構主催の公開授業を開催	11
◆ 退官記念最終講義の実施	12
◆ 訃報	12
◆ 海外渡航者	13
主 要 行 事	13
お 知 ら せ	
◆ 理学部事務室の移転について	16

年 頭 挨拶

富山大学長 瀧澤 弘

皆さん あけましておめでとうございます。

今年をご存知のように、富山大学は再編・統合に向けた大切な年を迎えております。3月末には国立大学の独立行政法人化に向けての最終報告が出されるかと思えます。いわば大学にとって激動の年を迎えるわけですが、それは富山大学だけでなく、全国の国立大学に共通した問題であります。私たちの県内2大学と1短期大学の再編・統合は、他の大学の再編・統合とは違った条件の中で考えなければなりません。富山大学には他の2大学の橋渡しの役割もあり、大変難しい状況もありますが、皆さんとともに一生懸命に努力したいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。新聞記者などマスコミ関係者は、平成15年度の概算要求に間に合うのかと、昨年末あたりから私のところへよく聞きに来ます。私としては、ダメだということがわかるまでは努力すると思っております。ただ、相手のある事ですから、富山大学だけでは出来ませんが、両大学にも理解をしていただき、なんとか平成15年度概算要求に向けて努力したいと思っております。

もうひとつ、富山大学としては、今年もっと大切なのは、ご存知のように入学試験の合否判定ミスで失った社会的信頼を今年こそ取り戻さねばならない、これが再編・統合の節目の年と重なっている点です。困難であっても、失った社会的信頼は、研究面や教育面、或いは地域への貢献とかで示すほかないわけで、今年はこうした点を常に念頭に置いて頑張っていたいただきたいものです。

今、申しましたように、今年富山大学の再生への1年目です。私自身への自戒を込めてのことですが、何か新しいことを始めようとする、すぐに問題点がたくさん浮かんで来て、ついマイナス志向になりがちです。どうか、そうではなくて、問題点が出てきたら、逆にそれを利用してプラス志向で何とか実現に向かうようにしたい。皆さんもこの気持ちで努力していただき、富山大学としての有終の美を飾りたいものと思います。「富山大学も棄てたものじゃない！ なかなかやるじゃないか！」という評価に向けた改革・改善の年になるように願っております。

どうか、いろいろ問題が出てくると思いますが、ある

いは仕事が出てくると思いますが、本年も皆さん方はたくさん仕事を持って、あるいは積極的に仕事を創って私どもの学長室へ、副学長室へ、事務局長室へぜひ訪ねて頂きたいと思っています。

簡単ですが、新年の挨拶とさせていただきます。



△ 仕事始めの会(1月4日事務局大会議室)で挨拶する瀧澤学長

関 係 法 令

(告 示)

- 大学等における組換えDNA実験指針を廃止する件
(文部科学4) (平成14. 1. 31官報号外第15号)
- 組換えDNA実験指針を定める件 (同5) (同)

学 内 規 則

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則の制定

富山大学教育学部附属学校規則の改正理由

- 1 学校教育法施行規則の一部改正による文部事務次官通知(平成11年3月29日付け文初高第457号)に基づき、附属小学校、中学校、養護学校及び幼稚園において、平成14年度から完全学校週5日制を実施するため、所要事項を改める。
- 2 附属中学校では、完全学校週5日制を受けて、授業時数の確保、指導内容・方法の改善及び教育水準維持のため、2学期制を実施することに伴い所要事項を改める。

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成14年 1月18日

富山大学長 瀧 澤 弘

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部附属学校規則(昭和41年1月17日制定)の一部を次のように改正する。

第5条を次のように改める。

第5条 学年を分けて、次のとおりとする。

(1) 小学校、養護学校及び幼稚園は、次の3学期とする。

第1学期 4月1日から8月31日まで

第2学期 9月1日から12月31日まで

第3学期 1月1日から3月31日まで

(2) 中学校は、次の2学期とする。

第1学期 4月1日から10月20日まで

第2学期 10月21日から3月31日まで

第6条第2号中「日曜日」の下に「及び土曜日」を加え、同条第3号を削り、第4号を第3号とし、第5号から第8号までを1号ずつ繰り上げる。

附 則

この規則は、平成14年4月1日から施行する。



富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会（1月8日）

（審議事項）

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

富山大学の組織運営体制の整備に関する検討委員会（1月11日）

（審議事項）

- (1) 組織運営体制の整備について

国立大学再編・統合検討委員会（1月16日）

（議 題）

- (1) 富山県内国立大学の再編・統合に係る懇談会について

学生生活委員会（1月16日）

（審議事項）

- (1) 学寮施設の整備について
(2) 学生団体の書類送付について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会（1月16日）

（審議事項）

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

入学試験実施委員会（1月17日）

（審議事項）

- (1) 入試関係委員会規則等について
(2) 出題ミスの防止について

部局長会議（1月18日）

（懇談事項）

- (1) 募金の取扱いについて

評議会（1月18日）

（審議事項）

- (1) 平成14年度以降の定員・機構に係る概算要求事項の弾力化についての取扱いについて
(2) 富山県内国立大学の再編・統合について
(3) 富山大学教育学部附属学校規則の一部改正について

大学教育委員会（1月18日）

（審議事項）

- (1) 平成14年度非常勤講師任用計画の策定について
(2) 平成14年度入学生オリエンテーションについて

学長選考規則等に関する検討委員会（1月21日）

（審議事項）

- (1) 学長選考規則等の問題点について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会（1月22日）

（審議事項）

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

富山大学の組織運営体制の整備に関する検討委員会（1月25日）

（審議事項）

- (1) 組織運営体制の整備について

国際交流会館運営会議（1月25日）

（審議事項）

- (1) 平成14年4月期国際交流会館入居者の募集について

入学試験実施委員会（1月28日）

（審議事項）

- (1) 入試関係委員会規則等について

学生生活委員会（1月30日）

（審議事項）

- (1) 学生団体の書類送付について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会（1月30日）

（審議事項）

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

学長選考規則等に関する検討委員会（1月31日）

（審議事項）

- (1) 学長選考規則等の問題点について



平成14年度大学入試センター試験を実施
 - 本学試験場の受験対象者は4,052人 -

平成14年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月19日（土）～20日（日）に全国一斉に実施されました。センター試験となって、第13回目となる今年度の出題科目は、外国語に韓国語が加わって6教科32科目となり、志願者も全国で昨年度より11,198人多い602,090人（うち女子の割合は40.1%）の過去最高を記録しました。また、各科目の受験者も前年度を上回り、富山県内の志願者も昨年度より85人多い5,902人（うち女子は2,738人）でした。

試験当日、富山県内では、本学をはじめとして富山医科薬科大学、富山県立大学、高岡法科大学及び富山国際大学の5大学が分担して試験を実施し、本学試験場では4,052人が各学部5試験場に分かれて受験しました。両日とも好天に恵まれ、交通機関の遅滞等もなく、予定どおり試験が実施されました。

なお、本学及び全国の受験状況は次のとおりです。



△試験開始を待つ受験生

平成14年度大学入試センター試験受験状況

期 日	教科・科目	富山大学試験場			全 国		
		志願者数	受験者数	受験率	志願者数	受験者数	受験率
1月19日 (土)	外 国 語	4,052人	3,962人	97.8%	602,090人	550,203人	91.4%
	地 理 歴 史		3,640	89.8		408,164	67.8
	数 学 ①		3,663	90.4		412,130	68.4
	数 学 ②		3,525	87.0		360,207	59.8
1月20日 (日)	国 語		3,903	96.3		525,608	87.3
	理 科 ①		3,342	82.5		342,533	56.9
	理 科 ②		1,960	48.4		235,694	39.1
	公 民		2,488	61.4		260,234	43.2

平成13年度富山大学国際交流活性化推進事業（後期分）採択者

1. 第1種海外派遣事業（A）（遼寧大学及び協定大学への派遣）

申請者			派遣期間	訪問先	研究課題
部局	職名	氏名			
教育学部	助教授	小川 亮	14. 3. 5～14. 3. 14 (10日間)	マーレイ州立大学（アメリカ合衆国）	米国ケンタッキー州における情報教育のカリキュラムの調査研究

2. 第1種海外派遣事業（B）（教職員の海外派遣）

申請者			派遣期間	訪問先	研究課題
部局	職名	氏名			
教育学部	教授	雨宮 洋司	13. 11. 7～13. 11. 10 (4日間)	大連海事大学（中華人民共和国）	環日本海諸国の大学での教育学部学生のための集中講義・教育実習プログラムの作成とその実施
留学生センター	助教授	濱田 美和	14. 3. 25～14. 3. 29 (5日間)	慶熙大学校（大韓民国）	日韓理工系学部留学生事業における予備教育改善のための現地調査

3. 第1種海外派遣事業（C）（若手教員等の海外派遣）

申請者			派遣期間	訪問先	研究課題
部局	職名	氏名			
工学部	助手	三井 隆志	13. 10. 28～13. 11. 4 (8日間)	サンフランシスコ市（アメリカ合衆国）	振動走査型トンネル分光の理論

4. 第2種外国人研究者招へい事業（B）（日本滞在中の著名な外国人研究者の招へい）

申請者			招へい期間	招へい研究者		研究課題
部局	職名	氏名		氏名	所属・職	
理学部	教授	金森 寛	13. 11. 18～13. 11. 22 (5日間)	Gail Ruth Wilsky (アメリカ合衆国)	State University of New York at Buffalo・Associate Professor	生理・生化学作用を有する新規バナジウム化合物の研究
人文学部	教授	前川 要	13. 12. 24～13. 12. 28 (5日間)	ワシリエフスキー アレクサンダー アレクサンダー (ロシア連邦)	国立サハリン総合大学・教授	極東における縄文期からオホーツク文化期への展開過程の解明の研究
教育学部	教授	古川 政明	14. 1. 13～14. 1. 17 (5日間)	韓 建美（中華人民共和国）	上海同済大学日本語学科・副主任（助教授）	日本人の日常生活習慣の研究（祭と日常生活の調査を通して）

5. 第3種外国人留学生への奨学事業

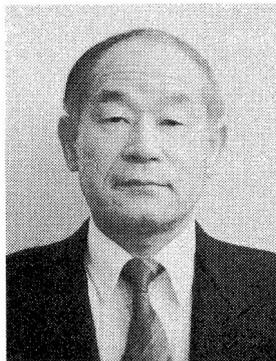
受入部局	申請者氏名 (性・年齢)	主な研究内容	協定大学名 (国名)	指導教官名	留学期間	備考
大学院理工学研究科	許 信順 (男・26歳)	生体情報処理機構に関する研究	山東大学（中華人民共和国）	唐 政 教授	平成13年12月1日 ～平成14年11月30日	特別研究学生

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	14. 1. 1	田村 修一	(独立行政法人国立少年自然の家国立立山少年自然の家庶務課会計係長)	文部科学事務官施設課企画係長
	"	山内 栄明		" (学生部厚生課)
	"	脇山 由香		" (工学部)
	14. 1. 4	大江 博美		臨時用務員 (経済学部作業員)
	14. 1. 9	松井 輝代		" (教育学部炊婦)
	"	堰免 芳子		" "
	"	仲谷千鶴子		" "
	"	藤井 香		" "
昇 任	14. 1. 1	菊池 万里	助手 理学部	助教授 理学部 (数学科情報数理)
	"	室 智子	経理部契約室	経理部契約室契約第一係主任
	"	山中 勝也	" "	" " 契約第三係主任
	"	沼田 高志	人文学部・理学部	人文学部・理学部教務第一係主任
	"	中波 憲子	経済学部	経済学部教務係主任
配 置 換	14. 1. 1	東 敏	施設課企画係長	経理部経理課収入係長
	"	松田 義弘	工学部総務係主任	" 主計課総務係主任
任用更新	14. 1. 8	菅原 香	教 諭 教育学部附属養護学校	任用を更新する (~14. 2. 24)
併 任	14. 1. 1	山内 栄明	文部科学事務官 (学生部厚生課)	経済学部に併任
	14. 1. 23	七澤 邦彦	教 諭 教育学部附属養護学校	教育学部附属養護学校小学部主事
死 亡	14. 1. 22	林 正利	" "	死亡 (公務外)

学 内 諸 報

附属図書館長の改選



小谷仲男附属図書館長（人文
学部教授）の任期が、平成14年
2月19日で満了することに伴い、
附属図書館運営委員会において、
次の3氏が推薦され、評議会に
おいて審議されました。

その結果、山地啓司教育学部
教授が次期附属図書館長候補者
に決定しました。

任期は、平成14年2月20日から2年間。

神 阪 盛一郎（理学部教授）

畠 山 豊 正（工学部教授）

山 地 啓 司（教育学部教授）

山地教授は、昭和40年3月東京教育大学体育学部を卒業、同45年3月東京大学大学院教育学研究科修士課程を修了、同48年3月同大学院博士課程を単位取得退学後、同年4月東京大学教育学部助手に採用となり、同50年4月富山大学教育学部講師、同51年5月同助教授、同58年8月同教授となり、平成元年3月から同5年3月まで教育学部長、平成9年6月から評議員に併任され、現在に至っています。

専門は、運動生理学、バイオメカニクス。

教育学博士（東京大学）。

香川県出身。

（就任にあたって）

富山大学附属図書館は、本学開学以来、今日まで教職員及び学生の知的育成と創造の拠点として、真にキャンパスの中心に位置してきました。こんな伝統ある図書館長に門外漢の私が就任することとなり、いささか驚くとともに、その責任の重大さに決意を新たにしているところです。

これまで当図書館では、利用者のニーズに即応した組織改革と機能改善が絶えずなされてきました。特に10数年前からの情報化時代の到来にともない、情報機器・情

報網を通して、一般市民あるいは世界に門戸を開放してきました。たとえば、全国的に有名な「ヘルン文庫」、「小泉八雲関係文献」、「川合文庫」等々の目録のデータベース化。さらに附属図書館ホームページや携帯電話による当館蔵書の総合目録情報の検索、図書館利用案内や新着書案内等によって“いつでも、どこでも、誰でも”が図書館を利用できるようにサービスの質の改善に努めてきました。これも歴代の館長を始め多くの教職員の皆様のお陰によるものと感謝致しています。今後もこれらを継承し、さらに一層図書館利用者の拡大と幅広いニーズに応え得るハードとソフトの両面の充実を図っていきたく考えています。特に、地域一般市民に対する生涯教育の場と資料の提供、親切な愛される図書館の実現をめざして努力していきたい所存です。

そのような主旨で、現在生起している二つの課題に積極的に取り組んでいきたいと思えます。1つは電子ジャーナルの購読を積極的に推進することによる、より廉価でより速い情報の提供です。第2はマルチメディア・コミュニケーション・センター（MCC）の設置です。高度情報化時代に対応したインターネットの普及とキャンパス情報ネットワーク・システムの整備拡充及び図書館業務の簡素化と効率化の推進によって、利用者への大幅なサービスの改善を図っていきたく思えます。

図書館がどんなに環境整備・機能改善を行っても、そこに働く職員にサービス心が欠如していたのでは、本来の意味での利用者に愛される図書館にはなれません。生きた図書館、愛される図書館をめざして、今後一層努力していきたいと決意を新たにしています。大学構成員のご協力をお願い致します。

平成13年度外国人留学生と日本人学生との交流会を開催

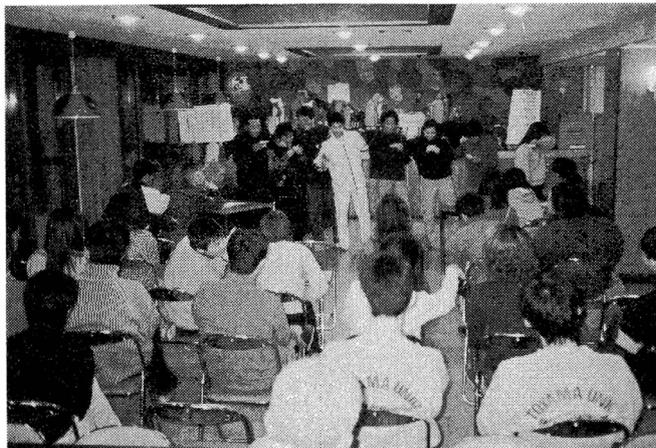
本年度の外国人留学生と日本人学生との交流会が、1月7日（月）から1月10日（木）の3泊4日の日程で、長野県の志賀高原ブナ平スキー場で開催され、留学生、日本人学生、指導教官及び学生部職員等約50人が参加しました。

この事業は、留学生に好評の事業の一つで、留学生と日本人学生がスキーを通して合宿研修を行い、留学生のスキー体験及び学生相互の交流と国際理解を深めることを主な目的として、平成10年度から開催されているものです。

参加者の殆どがスキー体験が初めてであり、ぎこちないスキー靴の歩行から始まり、本学の体育担当教官を中心とした指導者等からの熱心な指導のお陰で、日程の後半には、リフトを利用して滑走するまでに上達しました。

また、スキーのほか、留学生と日本人学生合同の分科

会や演芸会なども行われ、この交流会の目的を達成することが出来ました。



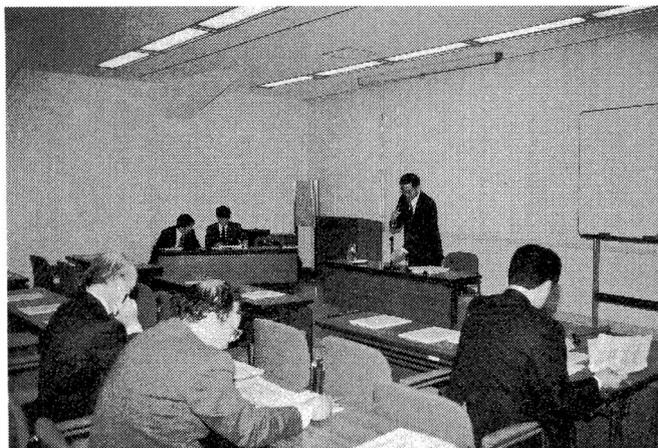
△ 演芸会風景

国立大学の法人化に関する講演会（第2部）を開催

国立大学の法人化に関する講演会の第1部として昨年12月14日（金）に行われた「国立大学法人の制度設計の特色」に引き続き、第2部として第1部と同じく、中央青山監査法人 公認会計士の関口恭三氏を講師に招いて、「独立行政法人の会計制度の特色」についての講演会が1月10日（木）黒田講堂において行われました。

この講演会は、前回と同様に大学の職員として、国立学校の法人化に関する情報を収集し、これからの大学運営に資する目的で開催されたものです。

今回も教官・事務官合わせて67名が出席し、熱心にメモを取ったり、活発な質疑応答を行っていました。



教育学部附属養護学校高等部と同附属中学校が合同でフリーマーケットを開催

1月19日（土）に富山市内のショッピングセンターにおいて、教育学部附属養護学校高等部と同附属中学校が合同でフリーマーケットを開催しました。

附属養護学校高等部では、総合的な学習の一環として、使い古した日用品などを集めて売ることによって、リサイクルの仕組みを理解しようと、「エコ教室」というグ

ループを企画しました。しかし、この「エコ教室」のメンバーが7人しかいないことから、附属中学校に協力を呼びかけたところ、3年生を中心に8人が新たにメンバーに加わり、両校の生徒や保護者から寄贈された古着や古本等を商品として、「交流フリーマーケット」の開催となったものです。

このフリーマーケットについて、附属養護学校高等部2年の千石伸治君は「楽しいものにしたい」と語り、また、附属中学校の砂田悠香子さん（3年）も「中学校と養護学校の交流がさらに深まるきっかけになれば」と話していました。

当日の会場には多数の人が訪れ、予想以上の大盛況となりました。フリーマーケットの醍醐味のひとつに、客との価格交渉がありますが、開催後に生徒に感想を聞い

たところ、「難しかった。」「（客の）すごい勢いに圧倒された。」など、どの生徒もかなり苦戦していたようです。

放課後遅くまで残ったり、準備の段階からの色々な苦労にもかかわらず、多くの人と関わりを持たれたことを生徒達は大変喜んでいました。

なお、このマーケットでの収益金は、アフガニスタンの難民へ寄贈される予定です。

教養教育実施機構主催の公開授業を開催

1月24日（木）に黒田講堂において、本学教養教育実施機構主催の公開授業として、「総合科目『現代の世界（時事的問題）－教育の再生をめざして－』」（コーディネーター・経済学部 高山龍太郎講師）の公開授業が開催され、学校関係者等約300人が参加しました。

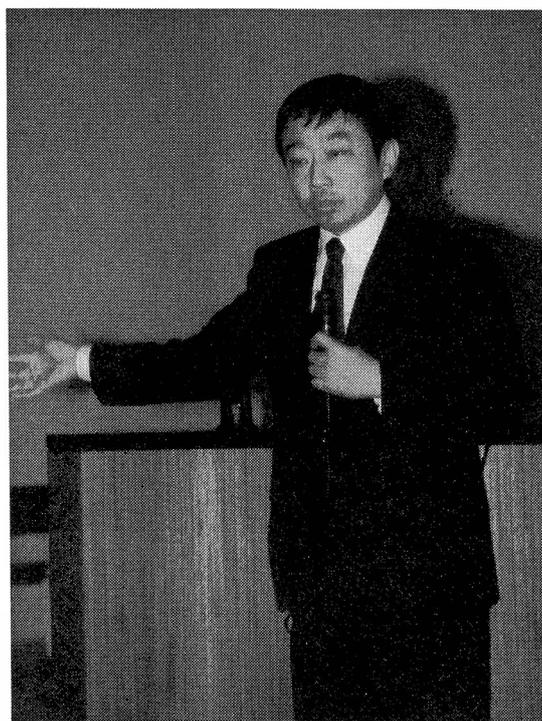
現在、いじめや不登校、学級崩壊等、学校教育をめぐる問題が多発し、加えて、少子化の進行により定員割れを起こす大学が増加すると言われており、また、深刻な経済状況によって、一括採用、終身雇用、年功序列という制度が崩壊し、学歴だけで通用する時代は、急速に幕を閉じつつあります。

「生涯学習と学校の将来像」と題したこの講義は、21世紀を迎えて社会全体が大きく変化している中で学校の役割もまた、変わっていかざるを得ないのではという狙いのもとに開講されたものです。

講師として、永年、高校総合学科の創設や業者テストの追放、偏差値の廃止、放送大学の普及などの施策に取り組んでこられた文部科学省大臣官房審議官（生涯学習政策局担当）の寺脇 研氏が講義を行われました。

同氏は講義の中で、小学校等の完全週5日制で授業時間が減少することについて、家庭や地域の役割を強調されるとともに、国立大学の再編・統合問題にも触れ、「国立大学は国民の税金で賄われているが、どのような大学ならば国民が納得できるかを考えなければならない」などと指摘されました。

また、講演後引き続き、「総合科目『現代の世界（時事的問題）－教育の再生をめざして－』」担当の本学非常勤講師の宮川正文氏の司会により、寺脇審議官、高山講師、富山県PTA協議会代表、他大学学生及び受講学生代表による討論会が行われました。



△ 講演する寺脇 審議官

退官記念最終講義の実施

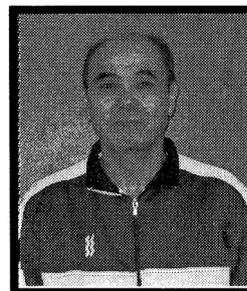
本年3月末をもって退官される経済学部 田中祥子教授の最終講義が1月24日（木）に同学部301講義室において行われ、多数の学生、教職員、OBが出席し、終始熱心に聴講していました。

題 目 株価はなぜ分かりにくいのか
—特に株価指数先物・オプション取引の
関連から—

**訃 報****◎ 教育学部附属養護学校 林 正利教諭が逝去されました。**

教育学部附属養護学校 林 正利教諭には、平成14年1月22日に逝去されましたことお知らせします。享年60歳。

ここにご生前のご功績とお人柄を偲び、心から哀悼の意を表します。



海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先	目 的	期 間
外国出張	経済学部	助教授	岸 本 壽 生	香港	アジアに展開する日系サービスMNEの調査	14. 1. 4 } 14. 1. 9
	極東地域研究センター	教 授	川 田 邦 夫	中国	環日本海地域学術情報ネットワーク化等に関する調査研究	14. 1. 8 } 14. 1. 14
	工 学 部	教 授	椿 範 立	アラブ首長国連邦, 南アフリカ	合成燃料海外研究調査	14. 1. 12 } 14. 1. 20
	極東地域研究センター	教 授	酒 井 富 夫	中国	学術研究ネットワーク形成のための研究打合せ	14. 1. 17 } 14. 1. 19
	極東地域研究センター	助教授	堀 江 典 生	中国	学術研究ネットワーク形成のための研究打合せ	14. 1. 17 } 14. 1. 19
海外研修	工 学 部	教 授	熊 澤 英 博	中国	水質浄化試験現場の視察と結果の討議	14. 1. 4 } 14. 1. 9
	経済学部	教 授	清 家 彰 敏	中 国	研究会に参加	14. 1. 16 } 14. 1. 21

主 要 行 事

本 部

- 1月4日 仕事始め
- 8日 運営会議
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会
- 10日 国立大学の法人化に関する講演会（第2部）
- 11日 組織運営体制の整備に関する検討委員会
国立大学再編・統合検討委員会
- 15日 事務協議会
3大学懇談会
- 16日 国立大学再編・統合検討委員会
学生生活委員会
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会
- 17日 運営会議
入学試験実施委員会
教養教育合同検討会議（於：富山医科薬科大学）
- 18日 部局長会議

評議会

大学教育委員会

- 19日～20日 大学入試センター試験
- 21日 学長選考規則等に関する検討委員会
事務局連絡会
- 22日 北信越地区及び信越地区国立大学長懇談会
（於：金沢大学）
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会
- 3大学懇談会
- 24日 教養教育公開授業
- 25日 国際交流会館運営委員会
組織運営体制の整備に関する検討委員会
ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会
教養教育合同検討委員会
- 28日 事務局連絡会
入学試験実施委員会
- 29日 国立大学学生部長・学生指導担当副学長会議（於：一橋記念講堂）

- 30日 富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会
富山県インターンシップ運営委員会（於：名鉄トヤマホテル）
学生生活委員会
- 31日 学長選考規則等に関する検討委員会

- 附属中学校評議員会
25日 附属幼稚園評議員会
29日 平成14年度附属小学校入学者発育検査
30日 研究科小委員会
学部予算委員会

人 文 学 部

- 1月9日 教授会（人事）
教授会
- 16日 学部学生生活・就職指導委員会
学部教務委員会
- 21日 学部広報委員会
- 22日 学部国際交流委員会
- 23日 教授会
- 28日 学部将来計画委員会
- 30日 教授会（人事）
教授会

教 育 学 部

- 1月7日 学部拡大将来計画委員会
- 8日 附属学校の校長及び園長候補者の選考委員会
学部予算委員会
附属中学校及び附属養護学校 第3学期始業式
- 9日 教授会
人事教授会
附属小学校及び附属幼稚園 第3学期始業式
- 9日～11日 平成14年度附属小学校、附属中学校及び附属養護学校（高等部）入学願書受付
- 16日 教育方法改善のための懇談会
- 17日 平成14年度附属養護学校（高等部）入学者選考
- 18日 平成14年度附属養護学校（高等部）合格者発表
- 22日 視聴覚障害者受入準備委員会
- 23日 教授会
人事教授会
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会

経 済 学 部

- 1月8日 学部教務委員会
- 9日 人事教授会
研究科委員会
教授会
- 10日 情報処理委員会
- 16日 将来構想等検討委員会
- 23日 教授会
財務委員会
- 24日 田中教授最終講義
- 28日 学部入学試験委員会
- 30日 人事基本問題検討委員会
人事教授会

理 学 部

- 1月5日 国立4大学（北信越地区）理学部長懇談会（於：富山地鉄ホテル）
- 9日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会
- 15日 学部教務委員会
- 23日 教授会（臨時）
学科長会議
理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
- 大学院理工学研究科博士後期課程部会
大学院理工学研究科委員会
- 29日 出前講義（富山県立志貴野高等学校）
- 31日 学部教務委員会

工 学 部

- 1月8日 自己点検評価委員会
- 9日 教授会
専任教授会
大学院理工学研究科博士前期課程工学部会

- 学生生活委員会
 21日 学生生活委員会
 22日 学部運営委員会
 教務委員会
 23日 教授会
 専任教授会
 大学院理工学研究科博士前期課程工学部会
 大学院工学研究科博士後期課程委員会
 大学院理工学研究科博士後期課程部会
 大学院理工学研究科委員会
 24日 学生の特別健康診断
 25日 教官要覧編集委員会
 28日 学生の特別健康診断
 学生生活委員会
 31日 北陸信越工学教育協会富山県支部講演会

附 属 図 書 館

1月17日 平成13年度国立大学附属図書館事務部長会議（於：山形市，ホテル・キャッスル）

水素同位体科学研究センター

1月8日 教育訓練
 演題；放射性同位元素等の安全取扱い
 講師；大貫惣明（北海道大学大学院工学研究科・工学部）

9日 運営委員会
 人事に関する運営委員会

28日 教育訓練
 演題；放射性同位元素等の安全取扱い
 講師；西川雅弘（大阪大学大学院工学研究科・工学部）

お知らせ

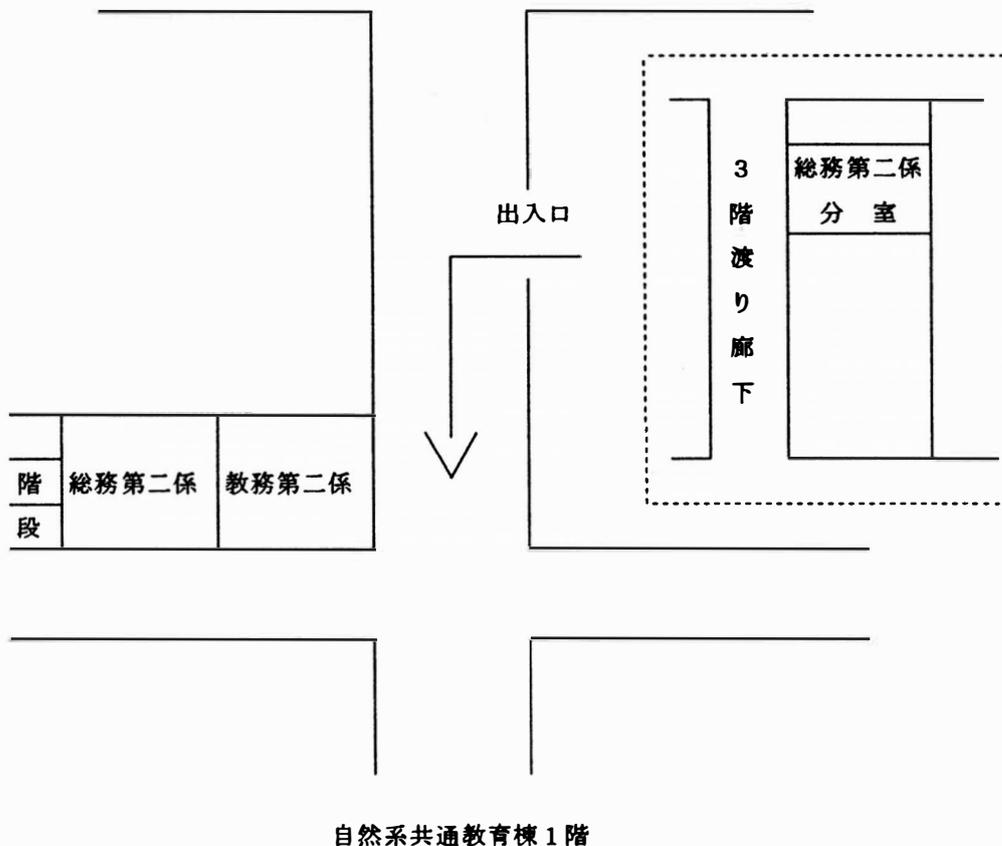
理学部事務室の移転について

理学部2号館校舎改修工事に伴い、理学部事務室が下記の場所に移転しました。

総務第二係	自然系共通教育棟 1階	104号室
総務第二係分室	自然系共通教育棟 3階渡り廊下	324号室
教務第二係	自然系共通教育棟 1階	105号室

玄 関

理 学 部 2 号 館 (改 修 中)
(通 行 禁 止)





△ 大学入試センター試験第2試験場（人文・社会系共通教育棟）に入場する受験者



△ 雪の大学キャンパス（平成14年 1月下旬）

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
印刷所 あげぼの企画株式会社 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899